

学生生活のイメージを

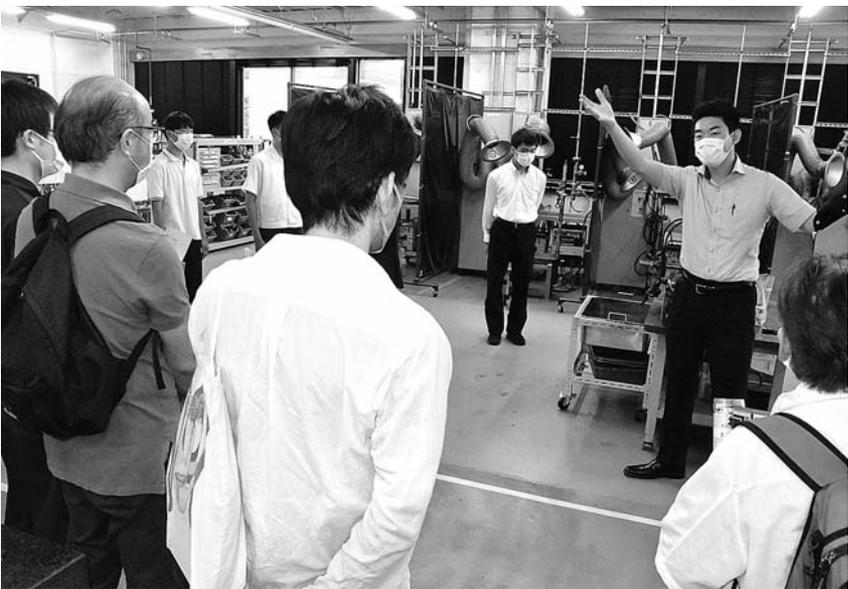
秋田職能短大 オープンキャンパス

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（後藤康孝校長）で17日、オープンキャンパスが行われた。本年度1回目、県内外の高校生や保護者ら69人が参加。校内見学や体験授業を通して、学生生活へのイメージを膨らませた。

同校の取り組みに理解を深めてもらい、進路、卒業選択に役立ててもらおうと年4回行っている。

県内外から高校生や既卒者らが訪れた。学校概要について説明を受けた後、3班に分かれて生産技術科、電子情報技術科、住居環境科の施設を見学。生産技術科の実習棟では教員から旋盤機械について「物に穴を開けたり、ネジを作ったりできる」と教わった。溶接作業については「金属の板をくっつけて構造物を作る。さまざまなお仕事を学べ、できることを増やせる」と紹介され、真剣な表情で説

明に聞き入る姿があった。学食体験に続き、午後からは体験授業に臨んだ。金属加



教員から説明を受ける参加者（秋田職能短大）

工でネームプレートを作ったり、かんなの使い方を学んだりした。

今後は8月7日、9月11日、来年3月19日にも開催予定。問い合わせは同大学務援助課（☎0186・42・5600）。